

動に多大なるご支援とご協力を賜り、ありがとうございます。

この5月より幹事校が慶應に移り、一橋大学の岡田章先生の後任として、私が代表理事となりました。新理事・監事のリストをこのニュースレターにも掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

TCER は、1959 年の設立以来、日本における経済学の先端的な研究センターとして、大学の垣根を越えた経済学研究者の学術交流および学界と経済界との交流に、大きな役割を果たしてきました。2010 年には公益財団法人に移行し、新たな体制の下で活動を継続しています。これまで諸先輩方が築いてこられた TCER の伝統を継承し、さらに新しく発展させるべく、精一杯努力する所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

中堅・若手の研究者にもっと積極的に TCER の活動に参加してもらうことが大事ではないかと思っています。私のように、旧逗子コンや NBER-TCER 東アジア経済セミナー、TRIO コンファレンスなどで育てていただいた世代は、TCER の存在をしっかりと認識していたと思いますが、もっと若い世代の研究者の中には TCER のことをご存じない方もいらっしゃいます。TCER フェローは随時入会可能ですので、優秀な研究者の方たちが回りにいらっしゃったら、是非お声がけください。今年度と来年度、慶應三田キャンパスで開催している TCER 定例研究会にも、積極的にご参加いただければと思います。

また、ワーキングペーパーも、もう少し活性化したいものです。各種 TCER 関連コンファレンスを開催されましたら、そこで発表された論文をどんどんワーキングペーパーにさせていただけたらと思います。論文のアップロードが不便である等いろいろ問題があることも聞いております。少しずつ改善していきたいと考えています。

多大なご援助をいただいている経済同友会の皆様にも、お役に立つものをお返ししていきたいと思っています。ご関心を伺いつつ、毎月、TCER が準備できる最高の研究者に経済同友会＝TCER セミナーの講師をお願いしていきます。

その他、TCER の活動をさらに活性化するためのご意見、ご提案がございましたら、ご連絡ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

木村福成 (代表理事・慶應義塾大学)

(2) 2012年度前半の理事会報告

2012 年度第 1 回理事会は、2012 年 4 月 27 日 (木曜日) 10 時～11 時 30 分、飯田橋の TCER 事務所において開催されました。平成 23 年度の事業告書及び会計報告書が承認されました。財産運用管理規程に基づき、平成 24 年度の寄付金収入が入る前の支出に充てるため、特定資産を取り崩すことが承認されました。2012 年度の新理事・新監事の候補者案が提案され、承認されました。また、8 名の新規フェローの入会も承認されました。その他の審議事項として、TCER ワーキングペーパーの活性化について議論が行

われました。

2012 年度第 2 回理事会は、2012 年 5 月 14 日（月曜日）10 時 30 分～10 時 45 分、日本工業倶楽部で開催されました。代表理事・業務執行理事が選定され、各理事の担当も決定されました。業務執行理事のうち副代表理事のポストは、公益法人移行も終え特別な事情もないことから候補者なしとなりました。理事・監事並びに担当は（5）で紹介しています。

（3）2012年度前半の評議員会報告

2012年度第1回評議員会は、2012年5月14日（月曜日）9時30分～10時15分、日本工業倶楽部で開催されました。平成23年度の事業報告及び会計報告書が承認されました。新理事・新監事が選任されました。

（4）2012年度研究助成決定のお知らせ

2008年度より再開されました本研究助成制度は、経済学に関わる理論・実証面での萌芽的研究を支援することが目的として設立されたものです。公益法人への移行に伴い、これまで研究員のみと限ってきました応募資格を2009年度よりオープンにしています。

今回は12名と多数の応募がありましたが、予算が100万円ということから4名に絞り助成することとなりました。過去にTCERから助成を受けた方、研究内容がTCERの方針と合わない可能性がある方等を除きました。

（5）2012 年度新理事・新監事紹介

2012 年度は理事交代の時期に当たります。新理事・新監事は以下のように決まりました（敬称略）。

代表理事

木村 福成 （慶應義塾大学経済学部）

代表理事代理（業務執行理事）

グレーヴァ 香子（慶應義塾大学経済学部）

代表理事代理（業務執行理事）兼研究会担当

玉田 康成 （慶應義塾大学経済学部）

財産運用管理担当

福田 慎一 （東京大学大学院経済学研究科）

企画担当

井伊 雅子 (一橋大学大学院経済学研究科)

企画担当

川口 大司 (一橋大学大学院経済学研究科)

総務 (ホームページ担当)

鯉渕 賢 (中央大学商学部)

総務 (ニュースレター、名簿担当)

原田 喜美枝 (中央大学商学部)

総務 (報告書作成担当)

小西 秀樹 (早稲田大学政治経済学術院)

渉外・国際活動担当

有村 俊秀 (早稲田大学政治経済学術院)

監事

佐々木 弾 (東京大学社会科学研究所)

田中 隆一 (政策研究大学院大学)

2. コンファレンスご案内・報告

公1 国際的学術研究・交流事業

(1) 東アジア研究交流事業 (2012 年度 NBER-TCER 東アジア経済セミナー) 報告

本年度で第 23 回目となった東アジアセミナー(NBER-TCER、他共催)は、2012 年 6 月 15 日と 16 日、台湾台北市において、Chung-Hua Institution for Economic Research, Academia Sinica, National Taiwan University をローカル・オーガナイザーとして開催されました。

本年度のテーマは”Employment and Growth” でした。日本(TCER)からは、学習院大学 細野薫、政策研究大学院大学 Julen Esteban-Pretel が、それぞれ著者および討論者として参加、伊藤隆敏が (Andrew Rose との共同) オーガナイザーおよび討論者として参加しました (敬称略)。13 本の論文が提出され (1 本はスライドのみ)、活発な議論が展開されました。

会議のプログラム、発表論文は次の通りです (論文は以下の NBER のサイトで入手可能です (<http://www.nber.org/~confer/2012/ease12/program.html>))。

Friday, June 15:

8:30am

Welcome: Chung-Shu Wu, President, CIER

Session1. Wage and Retirement

9:00 am

Margaret McMillan, Tufts University and NBER,

Dani Rodrik, Harvard University and NBER

Globalization, Structural Change and Productivity Growth

Discussants:

Chedtha Intaravitak, TDRI

Sjamsu Rahardja, World Bank, Jakarta

10:30 am

Julen Esteban-Pretel, GRIPS

Ryo Nakajima, Yokohama National University

Ryuichi Tanaka, Tokyo Institute of Technology

Changes in Japan's Labor Market Flows Due to the Lost Decade

Discussants:

Takatoshi Ito, University of Tokyo and NBER

Mark Spiegel, Federal Reserve Bank of San Francisco

11:30 am

Stacey Chen, Academia Sinica

Long-Term Changes in the Wage Structure of Taiwan

Discussants:

Chedtha Intaravitak, TDRI

Margaret McMillan, Tufts University and NBER

1:30 pm

Mei Hsu, National Taipei University

Been-Lon Chen, Academia Sinica

Why Do Immigrants Earn So Much More Than Natives in Taiwan?

Discussants:

Dante Canlas, University of the Philippines

Yih-chyi Chuang, National Chengchi University

Session2. Labor Market and Financial Linkage

3:00 pm

Pengfei Wang, HKUST, Lifang Xu, HKUST,

Jianjun Miao, Boston University

Stock Market Bubbles and Unemployment

Discussants:

Julen Esteban-Pretel, GRIPS

Mark Spiegel, Federal Reserve Bank of San Francisco

4:00 pm

Kaoru Hosono, Ministry of Finance and Gakushuin University

Miho Takizawa, Toyo University

Financial Frictions, Misallocation and Plant-Size Distribution

Discussants:

Sjamsu Rahardja, World Bank, Jakarta

Catherine Wolfram, University of California at Berkeley and NBER

5:00 pm

Anand Srinivasan, National University of Singapore

Yupeng Lin, National University of Singapore

Takeshi Yamada, National University of Singapore

The Bright Side of Lending by State Owned Banks: Evidence from Japan

Discussants:

Kaoru Hosono, Ministry of Finance and Gakushuin University

Pengfei Wang, HKUST

Saturday, June 16:

Session3. Growth

9:00 am

Catherine Wolfram, University of California at Berkeley and NBER

Paul Gertler, University of California at Berkeley and NBER

Orie Shelef, University of California at Berkeley

Alan Fuchs, University of California at Berkeley

Poverty, Growth and the Demand for Energy

Discussants:

Stacey Chen, Academia Sinica

Kimmie Wang, CIER

10:30 am

Jakob Madsen, Monash University

Health, Human Capital Formation and Knowledge Production

Discussants:

Dante Canlas, University of the Philippines

Brent Neiman, University of Chicago and NBER

11:30 am

Meng-Chun Liu, CIER

Shin-Horng Chen, CIER

Contribution of Taiwan's Innovation to the Employment

Discussants:

Been-Lon Chen, Academia Sinica

Jong-Rong Chen, National Central University

Session4. Capital, Finance and Labor

1:30 pm

Loukas Karabarounis, University of Chicago and NBER

Brent Neiman, University of Chicago and NBER

Declining Labor Shares and the Global Rise of Corporate Savings

Discussants:

Martin Berka, Victoria University of Wellington

Chu-Chia Lin, National Chengchi University

3:00 pm Sanghoon Ahn, Korea Development Institute

Employment and Productivity Dynamics in Korea: An Analysis of Establishment-Level Micro Data

Discussants:

Evelyn Devadason, University of Malaya

Meng-Chun Liu, CIER

4:00 pm

Xiaoyan Lei, CCER

Yafeng Wang, CCER

Yaohui Zhao, CCER

Retirement Patterns in China

Discussants:

Evelyn Devadason, University of Malaya

Andrew Rose, University of California at Berkeley and NBER

(2) 環太平洋地域研究交流事業（2012 年度アジア危機コンファレンス）報告

2012 年度環太平洋地域研究交流事業は 2012 年 6 月 28 日（木）と 29 日（金）の両日、シンガポール・Nanyang Technological University（南洋理工大学）にて APEA コンファレンスの特別セッションとして行われました。TCER の特別セッションでは、”Theoretical Analysis of International Macroeconomics”というテーマで、国際マクロ経済学の諸問題について、最近の理論分析結果の紹介と問題提起を行った後、世界経済の安定に向けて関連テーマに関して参加者と議論を行いました。

世界金融危機やユーロ危機を経験した世界経済は、依然として回復半ばの段階で、危機の再発防止に向けた分析やそのための制度設計は重要な研究テーマです。世界金融危機やユーロ危機の原因は、従来の経済危機とは異なるもので、その教訓は、危機の震源地である欧米諸国だけでなく、東アジアの経済システムの是非を含めて数多くの論争を生み出しています。なかでも、今回のユーロ危機がいかなる影響を東アジア経済に及ぼすかについては、参加者が非常に高い関心を寄せました。コンファレンスには、アジア太平洋諸国の研究者を中心に世界各国から経済学者が参加し、東アジア諸国が直面する重要な政策的課題を経済学の観点から活発に議論・研究交流が展開され、大変有益でした。

なお、今回の APEA コンファレンスには、TCER から、井堀利宏（東京大学）、大瀧雅之（東京大学）、福田慎一（東京大学）、武田史子（東京大学）、小川英治（一橋大学）、原田喜美枝（中央大学）、鯉渕賢（中央大学）、土居丈朗（慶應義塾大学）、佐々木百合（明治学院大学）、佐藤清隆（横浜国立大学）、清水順子（学習院大学）らが参加し、報告と討論を行いました(敬称略)。

TCER セッション

Theoretical Analysis of International Macroeconomics

座長：Shin-ichi Fukuda, University of Tokyo, JP

報告 1：Masayuki Otaki, University of Tokyo, JP, “How a key currency functions as an international liquidity provision and insurance system.”

討論者：Junji Yamada, University of Toyama, JP

報告 2 : Eiji Okano, Chiba Keizai University, JP, and Eiji Ogawa, Hitotsubashi University, JP,
“Optimal Monetary Policy in Currency Union with Sovereign Risk”

討論者 : Kiyotaka Sato, Yokohama National University, JP

報告 3 : Soon Beng Chew, Nanyang Technological University, SG, and Shuntian Yao, Nanyang
Technological University, SG, “A Mathematical Model of a Macro-focused Union”

討論者 : Kentaro Kawasaki, TOYO University, JP

報告 4 : Tadashi Inoue, Hiroshima Shudo University, JP, “On the Global Stability of the Two
Sector Endogenous Growth Model with Educational Investment Adjustment Costs”

討論者 : Masayuki Otaki, University of Tokyo, JP

APEA 会議全体の詳細は、<http://www.apeaweb.org/confer/sing12/index.htm> で閲覧可能です。

公 2 学術研究交流促進事業

(1) 国際学術研究機関交流事業 (2012 年度 NERO コンファレンス) 報告

2012 年度 NERO コンファレンスは、2011 年 6 月 20 日、パリの OECD 本部で開催され、TCER からは赤林英夫（慶應義塾大学）が出席しました（敬称略）。本年度のトピックは「Income distribution, social mobility and the incidence of macroeconomic shocks across population groups（所得分布、社会階層移動、マクロ経済ショックが異なる人口集団に与える影響）」でした。トピックに関連して 12 論文の発表が行われ、活発な討議が行われました。最後に議長 Jørgen Elmeskov 氏(OECD)より、来年以降より具体的な共同研究に向けた準備を行いたいとの提案がありました。会議のプログラム、発表論文などは下記の通りです。また、同じ情報は以下の URL でも参照可能です。

http://www.oecd.org/document/33/0,3746,en_2649_34117_50487201_1_1_1_1,00.html

Meeting of National Economic Research Organizations, OECD Headquarters, 18 June 2012

09:00-09:15 Introduction

09:15-12:15 Round 1: The great recession, institutions and inequality

Karl Aiginger, WIFO

Stylised facts on the interaction between income distribution and the great recession

Michael Förster, OECD

Income inequality in the wake of the crisis

Rebecca Riley, NIESR

The UK national minimum wage and its effects on earnings and employment during the great recession

Roger Wilkins, MI

Income inequality and mobility in Australia (2001 to 2010) and the effects of the global financial crisis

G rard Cornilleau and H l ne P rivier, OFCE

Employment consequences of the economic crisis and public policies in Europe: Focus on gender and different age groups

13:15-16:45 Round 2: Shocks and other drivers of inequality in general

Rudiger Ahrend, OECD

The effects of macroeconomic shocks across population groups

Corinne Prost, INSEE

A scarred generation? French evidence on young people entering into tough labour markets, 1982-2008

Isabell Koske, OECD

Policy drivers of labour income and disposable income inequality across countries

David Autor, NBER

The impact of growing exposure to import competition from low-income economies on the employment, earnings and occupational opportunities of low-skilled workers in industrialized economies (specifically, the impact of trade with China on low-skilled US workers)

Hideo Akabayashi, TCER The education gap in Japan (plus the labour market after the Tohoku Great Earthquake)

Francisco Azpitarte, MI

Pro-poorness of growth in Australia in the last decade

Fernando de Holanda Barbosa Filho, FGV

Income inequality and social mobility in Brazil: Developments over the past few years

(2) TCER 定例研究会 (2012 年度 TCER 研究会) 報告

2012 年度の TCER 研究会は慶應義塾大学にて行われます。使用言語は基本的に英語です。フェローの方はいつでも参加できます。

詳細は以下のサイトをご覧ください (<http://web.econ.keio.ac.jp/org/pubecon/pubecon.html>)。

April 6 (Fri) 4:30-6:00

Bessho, Shun-ichiro (Keio University, Faculty of Economics)

"Should Japanese Tax System be More Progressive? An Application of Simulated SMCFs based on a Discrete Choice Model of Labor Supply"

April 13 (Fri) 4:30-6:00

Onishi, Hiroshi (Keio University, Faculty of Economics)

"The Marxian Optimal Growth Model; Reproduction Scheme and General Law of Capitalist Accumulation"

April 20 (Fri) 4:30-6:00

Kawabata, Mizuki (Keio University, Faculty of Economics)

"Childcare Access and Attaining Desirable Employment: The Case of Women with Preschool-Aged Children in Tokyo"

April 27 (Fri) 4:30-6:00

Terai, Kimiko (Keio University, Faculty of Economics)

Strategic Voting and the Case for the "Political Race to the Top" joint with Nishimura, Yukihiro

May 11 (Fri) 4:30-6:00

Baak, Saang Joon (Waseda University, Faculty of International Research and Education)

"Expectation formation Functions and price dynamics: an application to the U.S. hog market"

May 18 (Fri) 4:30-6:00

Teranishi, Yuki (Bank of Japan)

"Search-matching in Loan Market and Real Business Cycle: Example in Japan"

May 25 (Fri) 4:30-6:00

Watanabe, Naoki (University of Tsukuba, Graduate School of Systems and Information

Engineering)

"On Weighted Voting Experiments "

joint with Guerci, Eric, Hannaki, Nobuyuki, and Esposito, Gabriele

June 1 (Fri) 4:30-6:00

Ishikawa, Jota (Hitotsubashi University, Faculty of Economics)

"Environmental Management Policy under International Carbon Leakage"

joint with Kiyono, Kazuharu

June 8 (Fri) 2:45-4:15

Grossbard, Shoshana (San Diego State University, Department of Economics)

"Spousal Love and Children: an Economic Analysis"

joint with Mukhopadhyay, Sankar

June 8 (Fri) 4:30-6:00

Daito, Ichiro (Tohoku University, Department of International Economic Relations)

"Economic Dynamics under “Human Development Aid” : Productive Consumption Externality and Indeterminacy of Equilibrium"

June 15 (Fri) 4:30-6:00

Kondo, Ayako (Hosei University, Faculty of Economics)

"Effects of Universal Health Insurance on Health Care Utilization, Supply-Side Responses and Mortality Rates: Evidence from Japan"

joint with Shigeoka, Hitoshi

June 28 (Thu) 4:30-6:00

Otsu, Taisuke (Yale University, Department of Economics)

"GMM for Realized Volatility"

joint work with Kanaya ,Shin & Takano, Masaya

June 29 (Fri) 4:30-6:00

Tabuch, Takatoshi (University of Tokyo, Department of Economics)

"Third Countries in International Trade"

July 5 (Thu) 4:30-6:00

Kim, Byung-Yeon (Seoul National University, Department of Economics)

"Understanding the Effect of Communism on Social Preferences:
Experimental Evidence with North Korean Refugees"

July 6 (Fri) 4:30-6:00

Nakamura, Hideki (Osaka City University, Graduate School of Economics)

"Effort in Study and Income Inequality"

July 13 (Fri) 4:30-6:00

Kajii, Atsushi (Kyoto University, Institute of Economic Research)

"Longshot bias in parimutuel markets: an evolutionary explanation"

joint with Watanabe, Takahiro

July 20 (Fri) 2:45-4:15

Qu, Xiangyu (Ohio State University, Department of Economics)

"Purely Subjective Extended Bayesian Models with Knightian Unambiguity"

July 20 (Fri) 4:30-6:00

Yoshida, Jiro (The Pennsylvania State University, Department: Risk Management)

"Downward-Sloping Term Structure of Lease Rates: A Puzzle"

joint with Seko, Miki and Sumita, Kazuto

(3) ミクロ経済分析事業 (2012 年度 TCER ミクロコンファレンス・DC コンファレンスとの共同開催) ご案内

2012 年度の TECCR ミクロコンファレンスは、第 18 回ディセントラライゼーション・コンファレンス (DC) との共催で、9 月 15 日(土)、16 日(日)の 2 日間、関西大学千里山キャンパスにて開催されます。例年、日本経済学会秋季大会の前日に開催されてきましたが、昨年度と同様、本年度の TCER コンファレンスは 9 月に 2 日間の予定で開催することになりました。

TCER コンファレンスの投稿募集サイトの URL は次の通りです。

<http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~naoki50/18thDC-CallforPapers.html>

投稿締切は 8 月 6 日(月)です。発表論文の投稿だけでなく、コンファレンスへの御参加を歓迎いたします。参加人数確認のため、参加を予定されている方はメールでの事前登録をお願いいたします。メールの件名を「DC 参加登録」として、小林まで、氏名、所属、連絡先メールアドレスをお知らせください。以上、プログラム委員を代表して、御案内申し上げます。

小林 創（オーガナイザー） 関西大学経済学部 E-mail: khajime@kansai-u.ac.jp

（４）2012 年度 TCER プロジェクト（旧逗子コンファレンス）ご案内

2012 年度の TCER プロジェクト（旧逗子コンファレンス）は、本年度に限り、WEAI パシフィックリムの一環として開催されます。TCER が共催し、WEAI と慶應義塾大学が主催します。場所は慶應義塾大学三田キャンパス、日時は 2013 年 3 月 14 日（木）午後から 3 月 17 日（日）の午前中までの予定です。

（５）マクロ経済分析事業（2012 年度 TCER マクロコンファレンス）ご案内

1999 年以来、年に 1 回 TCER マクロコンファレンスが開催されています。2012 年度の第 14 回 TCER マクロコンファレンスは大阪（大阪大学）で開催されます。時期としては 12 月初旬を予定しています。

このコンファレンスは TCER、大阪大学経済学研究科・社会経済研究所の「人間行動と社会経済のダイナミクス」に関するグローバル COE、一橋大学物価研究センター、東京大学等の「長期デフレの解明」プロジェクトの共催によって行われます。

編集後記

2012 年度も引き続き Newsletter の発行を担当させていただきます。今年度で 3 年目となります、今後も皆様のご期待に添えるよう誠心誠意取り組んでいく所存です、宜しく願いいたします。（K.H.）。

Newsletter に関するご意見やご感想は代表理事木村福成 vzf02302@nifty.ne.jp
または総務理事原田喜美枝 kimieh@tamacc.chuo-u.ac.jp までご連絡下さい。

=====

公益財団法人 東京経済研究センター

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703 号室

Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp